

# 森林における鳥獣害対策について

平成28年5月

林野庁

## 目 次

1	森林被害の現状	1
2	森林における鳥獣害対策の体系	4
3	鳥獣害対策の技術開発の現状	5

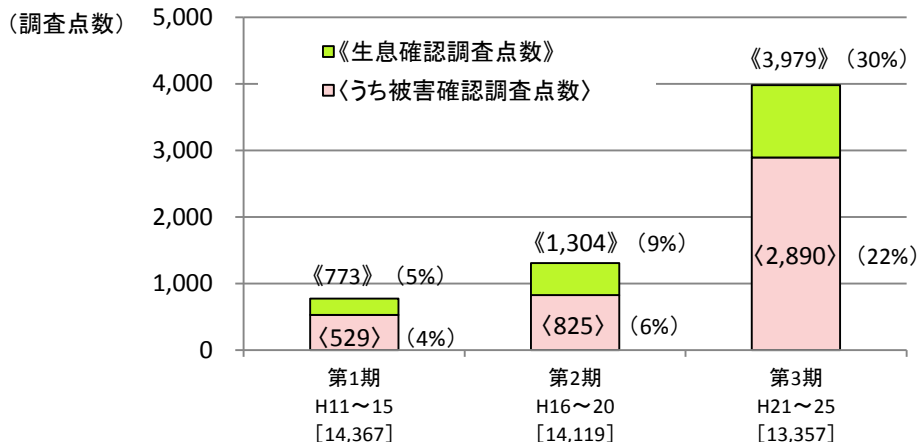
# 1 森林被害の現状

## (1) 森林における鳥獣害の現状

- シカの生息数の増加及び生息域の拡大により、森林の被害は深刻な状況にあり、全国の森林の約2割でシカによる被害。
- 平成26年度の新たなシカ被害面積は7千1百ヘクタールであり、野生鳥獣による森林被害のうちの約8割を占め、深刻な状況。
- シカの生息分布は1978年度以降大きく拡大しており、この36年間で分布域を約2.5倍に拡大。全国の総メッシュ数に占めるシカの分布割合は約6割。

### ■シカによる森林被害の状況

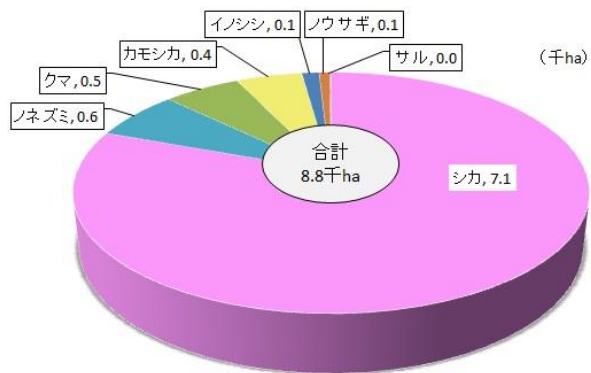
出典：森林生態系多様性基礎調査



注1：第3期は、第1期、第2期と調査方法が違うため比較できないことに留意。  
 2：[ ]は総調査点数、( )は総調査点数に対する割合である。

### ■主要な野生鳥獣による森林被害面積(平成26年度)

注 都道府県等からの報告による、民有林及び国有林の被害面積の合計



### ■ニホンジカ 全国生息分布メッシュ比較図

環境省資料(平成27年4月)

#### ニホンジカ分布域(メッシュ数)

自然環境保全基礎調査

■ 1978年のみ確認(70)

■ 1978年と2003年の両方で確認(3926)

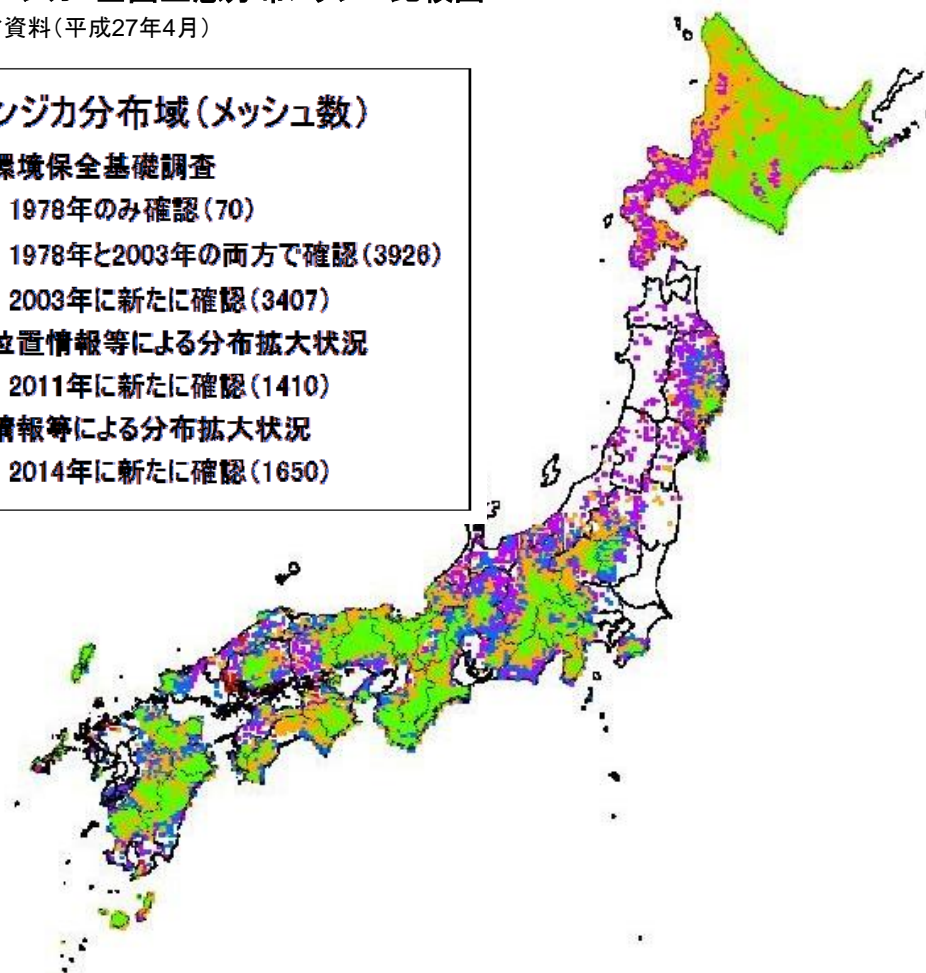
■ 2003年に新たに確認(3407)

捕獲位置情報等による分布拡大状況

■ 2011年に新たに確認(1410)

目撃情報等による分布拡大状況

■ 2014年に新たに確認(1650)



## (2) シカによる影響・被害1

### 植栽木への食害



北海道 胆振地域 連続した枝葉の食害により盆栽状になったカラマツの植栽木



山梨県 富士山周辺 シカの剥皮によるウラジロモミ植栽木の枯損



静岡県 富士山周辺 シカの食害を受け成林が見込めないヒノキ新植地

### シカによる樹皮剥ぎ



北海道 知床 エゾシカによる広葉樹の樹皮食害



長野県 東信地域 カラマツ人工林におけるシカの剥皮害



滋賀県 霊仙山周辺 スギ人工林におけるシカの剥皮害

### (3) シカによる影響・被害2

#### 下層植生の衰退



神奈川県 丹沢地域  
ヒノキ人工林におけるシカの食害  
による下層植生の消失



三重県 雲出川上流域  
天然林におけるシカの食害による下  
層植生の消失(一部表層崩壊)



和歌山県 護摩壇山周辺  
シカの食害により下層植生が  
アセビに単一化

#### 食害による裸地化



福井県 嶺南地域  
風衝地(以前はチシマザサ等が植生)  
におけるシカの食害による裸地化



高知県 三嶺周辺  
シカの食害によりミヤマクマザサが枯  
死し、裸地化(防護柵内のみ植生が  
残っている)



長崎県 対馬  
シカ食害による土壌流出

## 2 森林における鳥獣害対策の体系

### シカによる森林被害緊急対策事業

28年度予算:2億円  
27年度補正:1億円

・シカ被害が深刻な森林を対象として、広域的な捕獲と防除を行うモデル事業等を実施

### 森林整備事業(公共事業)

28年度予算:1,255億円の内数  
27年度補正:171億円の内数

・森林整備と一体的に行う防護柵等の鳥獣害防止施設等の整備や、被害森林におけるシカ等の捕獲・処分等を支援

### 治山事業(公共事業)

28年度予算:597億円の内数  
27年度補正:49億円の内数

・治山施設の設置や荒廃森林の整備と一体的に行う防護柵等の鳥獣被害防止施設等の整備を支援

### 鳥獣被害防止総合対策交付金

28年度予算:95億円  
27年度補正:12億円

・侵入防止柵の設置や、捕獲活動の直接経費など市町村が主体となった地域ぐるみの被害防止の取組を支援  
・地域の指導者や被害対策の中核となるコーディネーター等人材育成に支援

○次世代林業基盤づくり交付金うち森林・林業再生基盤づくり交付金  
(28年度予算:61億円の内数)

都道府県、市町村等が被害の状況を勘案し、地域の実情に応じて行う被害防止対策に支援

○森林・山村多面的機能発揮対策(28年度予算:25億円の内数)

地域住民、森林所有者等が協力して実施する里山林の保全等(鳥獣害防止柵の設置・修繕等を含む)について支援

### 3 鳥獣害対策の技術開発の現状

○ 国や地方公共団体の試験研究機関、森林組合、民間企業等により、様々な技術が開発されつつある。



#### ○ パッチディフェンス

造林地内に小規模面積の柵を点在させ、裸地における森林再生を行う技術。



#### ○ ドロップネット

空中に網を張り、捕獲したい動物が網の下に来た時に網を落として捕獲するわな。

写真：（国研）森林総合研究所提供



#### ○ セルフロックスタンション

下部にある餌を食べるために首を下げると自動的にロックされて頭部がぬけなくなるわな。



#### ○ 大型囲いわな

大量のシカの捕獲を目的にした囲いわな。遠隔操作システムと組み合わせることで捕獲率の向上、人的コスト削減が可能。



#### ○ 簡易囲いわな

従来の囲いわなよりも軽量の資材の利用により移動運搬や人力での組み立てが可能な囲いわな。遠隔操作システムと組み合わせることで捕獲率の向上、人的コスト削減が可能。



#### ○ 誘引狙撃

野生のシカを一時的に餌付けをした上で、銃器によって捕獲する技術。